

バドミントンプレーヤー

和水町長（後援会会長）

廣田 彩花 × 高巢 泰廣



あるところ。特にダブルスは、見ていて目で追えないくらい球の速さがあるところ。高巢 廣田選手のモットーを教えてください。

廣田 笑顔忘れず、毎日当たり前で生活できていることに感謝することです。

高巢 再春館製菓所を昨年4月に退部し、岐阜トリックキーパンダースに移籍する中、大活躍もありましたが、当時は大変だったのではないのでしょうか。

廣田 いろいろあって大変だった部分もありますが、トレーニングで精神的に崩れなかったですし、逆にばねになったと思っています。高巢 福島さんとペアを組んで、フクヒロペアと呼ばれています。ダブルスに相性はあるんですか。

廣田 相性はいいと思います。初めて組んだとき、ノリも良かったので。高巢 フクヒロペアの強み、また廣田選手の強みは何ですか。

廣田 ペアとしては、スピードのある動き、ローテーション、ラリー力があるところが強みだと思います。高巢 私自身は、怖いもの知らずで、どんどん前に行き、相手にプレッシャーをかけるところが強みだと思います。高巢 試合中ミスをしたときに、福島さんと声を掛け合ったり、励ましたりしていますか。

廣田 ピンチに立ったときに、嫌だなと思わないようにしています。二人で声を掛け合っています。高巢 試合と試合の間の移動中は、どう過ごしているのですか。

廣田 できるだけリラックスできるように心掛けています。音楽を聴いて、試合に向けてテンションを上げていきます。高巢 オフの日は何をしていますか。

廣田 寝たいときは寝て、ショッピングしたいときは出掛けます。高巢 廣田選手にとっての勝負飯はありますか。

高巢 明けましておめでとうございます。昨年は、全日本二連覇、ワールドツアー15勝と大活躍でした。世界ランキング1位で迎えられた新年のお気持ちはいかがでしょう。廣田 昨年は大変充実した1年を過ごさせてもらいました。世界選手権で銀メダルで、負けて悔しい思いをしましたし、全日本総合選手権では2連覇できて嬉しかったですし、ワールドツアーも重なって、今年につながる試合ができました。5月からはオリンピックに向けて選手権が始まりますので、気を引き締めて頑張っていきたいと思っています。高巢 昨年は、連戦、激戦本当にお疲れさまでした。久しぶりの里帰りかと思いますが、ふるさと和水町についてどう思っていますか。廣田 和水町は実家もありますし、帰ってきたあとという感じです。ここでずっと育ってきたので落ち着きます。

高巢 現在バドミントン女子ダブルスは、世界ランキング10位以内には日本のチームが5チームいるというところで、ライバルがたくさんいます。高巢 日本はバドミントン、特に女子ダブルスのレベルはすごく上がっていて、誰が勝ってもおかしくない状況です。日本人対決も多くなってくると思います。その状況に打ち勝つ精神力を持ち、対策を練って頑張りたいと思っています。高巢 全日本では、ライバルと一緒に練習したり合宿所で共に生活したり、まさに仲間であるといえますが、複雑な心境ではありませんか。廣田 団体戦は仲間意識が強いですが、皆が皆ライバルと思っています。表面は仲良くしていますが、皆、負けたくないという気持ちで練習しています。高巢 バドミントンの魅力、またダブルスの魅力って何ですか。廣田 スピード感がすごく

勝負飯はありますか。廣田 絶対これを食べるといいのはないのですが、肉が好きなので、たんぱく質を取るために食べます。日本食が好きなので、現地にも米とレバーなどを持って行き、日本食を食べられるところがいいときは、そこで米を炊いて肉を焼いて食べます。高巢 今年はオリンピックに向けて大事な年ですが、期待や不安はありますか。東京オリンピックでメダルを取ることが目標ですか。廣田 ワクワクしています。東京オリンピックに出場することは大きな目標。出場権2枠の中しっかりと入っていきたいと思います。高巢 和水町や未来を担う子どもたち、後援会員に対するメッセージをお願いします。廣田 皆さんの応援が力になっていきます。自分ができることは、バドミントンを通して感動と勇気を届けること。私がプレーしている



廣田 彩花 Sayaka Hirota

1994年熊本県和水町（旧菊水町）生まれ。2011年全日本ジュニア選手権大会女子ダブルスで準優勝。その後、地元の実業団に所属し、福島由紀選手とペアを組む。2017年世界選手権大会および全日本総合選手権大会で優勝。2018年岐阜トリックキーパンダースに移籍。以後、日本を代表するバドミントンプレーヤーの一人として活躍している。